



Health

健康づくり

健康増進課（北浦保健センター内）

☎ 0291-34-6200

蚊の媒介感染症（日本脳炎）に注意！

日本脳炎とは？

日本脳炎ウイルスをもった蚊（日本ではコガタアカイエカ）を介して感染します。ウイルスをもった蚊がブタやイノシシの血を吸い、ブタやイノシシの体内でウイルスが増え、また蚊がその血を吸うということを繰り返します。そのサイクルの中、ウイルスをもった蚊が人間の血を吸うことにより感染が起こります。

日本脳炎を発症するとどうなる？

筋硬直、脳神経症状、まひなどがみられ、致死率は20～40%。生存者でも後遺症が残る割合は45%～70%といわれています。

養豚場の多いこの地域は感染のリスクが高く、近隣では昨年、ヒトの日本脳炎の発症が確認されています。予防策として予防接種も有効です。

蚊媒介感染症の予防は、①蚊を発生させない ②蚊に刺されないが重要になります。

《蚊を発生させない対策》

- ・住まいの周辺の水たまりをなくし、定期的に清掃をしましょう。

《蚊に刺されない対策》

- ・肌の露出を減らしましょう ・虫よけスプレー等を使用しましょう。
- ・日中に屋外で活動する場合は、長そでシャツ、長ズボン等を着用しましょう。
- ・屋内への蚊の侵入を防ぎましょう。

《関連情報》

■茨城県感染症情報センター

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

こんな症状があったら熱中症を疑いましょう

軽度 めまい 立ちくらみ 筋肉痛 汗が止まらない

中度 頭痛 吐き気 体がだるい（倦怠感）

重度 意識喪失 けいれん 高体温 まっすぐに歩けない、走れない

熱中症は予防が大切！

こんな日は熱中症に注意！

- * 気温が高い * 風が弱い * 湿度が高い * 急に暑くなった

こんな人は特に注意！

- * 肥満の人 * 持病のある人 * 高齢者・幼児 * 体調の悪い人 * 暑さに慣れていない人

熱中症の予防 ・日傘、帽子 ・涼しい服装 ・水分をこまめにとる ・こまめに休憩 ・日陰利用

熱中症になったときは？

1. 意識の確認！ 意識がない場合 ⇒ 救急車の要請
2. 水分が自力で摂取できるか確認！ 摂取ができない場合 ⇒ 医療機関へ搬送
3. 涼しい場所へ避難！ 脱衣と冷却、水分・塩分の補給

